

平成30年度 乗務員年間指導教育実施計画書

教育月	教育事項	内 容	指 導 方 法	実施日	外 部 指 導
4月	◎事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	・道路運送法、道路交通法の遵守すべき事項 ・交通ルール等の理解 ・交通事故の実例を確認 ・運行指示書の遵守 ・一般国道・高速道路の安全走行 春の交通安全運動(4/6~4/15)	①各法令の概要と改正点 ②事故事例の学習 ③事故防止について		NASVA【適性診断】 (随時)
5月	◎事業用自動車の構造上の特性及び日常整備点検	・バスの構造上の特性や多様化する車両に合わせた運転指導 ・日常点検の励行 ・タイヤの保守及び腐食箇所の確認 点検整備強化月間	①社内での実車教習 ②死角による事故事例 ③オーバーハングの実習 ④内輪差の実習 ①正しい日常点検の実施指導		
6月	◎主とする運行経路または営業区域における道路及び交通の状況	・運行経路または営業区域の把握と、これらの状況を踏まえ、安全に運転するために留意すべき事項を指導	①配車場所の完全把握 ②進入時の状況確認 ③後退誘導の徹底 ④踏切における交通事故防止		
7月	◎乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項	・装置の急な操作を避けることの必要性 ・乗客の状況を確認 (走行中の着席・シートベルトの着用の徹底) 車内事故防止キャンペーン(7/1~7/31) 夏の交通事故防止運動(7/22~7/31)	①車内事故の事例 ②ベルト着用アナウンス ③ベルト着用DVDの活用 ④「急」のつく操作の事故事例		
8月	◎非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い	・緊急事態における救急救命(AED)の講習 ・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導	①応急用具の取り扱い ②非常用信号の取り扱い ③非常口の開閉操作 ④消火器の取り扱い ⑤事故対応マニュアルの把握		消防 【救急救命法講習会】
9月	◎交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	・長時間連続運転による過労及び飲酒等の生理的要因及び慣れや運転技能の過信などの心理的要因による交通事故の理解 ・飲酒運転、酒気帯び運転、危険ドラッグの使用禁止 秋の交通安全運動・飲酒運転防止週間(9/21~9/30)	①飲酒運転防止の指導 (アルコールの基礎知識) ②過労事故、飲酒事故例 ③2時間以上連続運転禁止		
10月	◎旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	・旅客の乗降時、状況に注意した装置の適切な操作の必要性 ・道路状況及び交通状況に応じた安全なでの停車 ・高齢者・障害者の乗降時の安全確保 ・安全速度の励行 高齢者の交通事故防止運動(10/1~10/31)	①乗降口操作の事故事例 ②SA/PAでの安全確認 ③路上乗降時の安全確保 ④踏み台の使用		
11月	◎異常気象時および緊急時における対処方法	・冬季における車両の扱い ・冬季道路の走行訓練を実施 (積雪・凍結路面のチェーン装着による事故防止) ・各種緊急事態(地震・バスジャック等)の対応を身に付ける ・異常気象の把握 エコドライブ強化月間	①タイヤチェーンの脱着訓練 ②冬季道路走行訓練 ③地震対応マニュアル ④バスジャックマニュアル ⑤火災発生時マニュアル ⑥アイドリングストップの徹底		太平興業(株) 【エコドライブ研修会】
	◎ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有	・(班別にて)交通事故やヒヤリハット等の事例説明	①ヒヤリハット体験の共有		
12月	◎ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	・自社で増加している事故 ・頻繁に通る運行ルートでのヒヤリハット	①前月に班別にてそれぞれ共有した事例を基に指導		
	◎危険の予測及び回避	・危険予測運転の必要性 ・危険予測のポイント ・ドライブレコーダーを利用した危険予知トレーニング(KTY)	①交差点通過時の安全確認 ②判断、運転ミスの重大事故 ③指差確認の徹底 (後退時、右左折時の事故撲滅)		
	◎安全性の向上を図るための装置を備えた貸切バスの適切な運転方法	・運転支援装置に関する性能の理解不足や過大評価による事故発生事例 ・運転支援装置の性能及び留意点 冬の交通事故防止運動・年末年始輸送安全総点検(12/11~12/20) (12/10~1/10)	④緊急時における制動装置の急な操作の方法 ⑤安全性の控除優を図るための装置の理解、活用		
1月	◎健康管理の重要性	・疾病が要因となる交通事故事例の理解 ・事故と健康管理の因果関係 ・定期健康診断結果に基づき、生活習慣の改善を図るなど健康管理の重要性の理解 健康管理・生活習慣病予防月間	①健康診断の完全受診 ②生活習慣病の改善 ③再検査の場合、個別に指導 ④睡眠時無呼吸症候群		
2月	◎運転者の運転適性に応じた安全運転	・適性診断結果に基づいた、運転者自らの運転行動の特性を自覚させる ・運転者のストレス等の心身の状態に配慮した適切な指導 無事故・無違反宣言	①運転適性診断による指導 ②運転記録証明書による指導		
3月	◎事業用自動車を運転時の心構え	・バス事業の公共性と重要性 ・バス事故の社会的影響 ・安全運行の心構え	①社会的役割 ②バス運転者の使命 ③事故を起こした場合の影響		
	◎接客マナーの向上対策 ◎サービス規程等の社内規律等の遵守	・接客(挨拶、言動、行動)等について ・サービス規程等の遵守すべき事項 ・労働時間等の改善のための基準を再度教育 車両火災予防運動・シートベルト着用運動	①お客様の立場に立った対応 ②マナー講習 ③服止は点検・アルコールアテツク夫協 ④免許証の確認・制服の着用 ⑤サービス規程等の厳守		